

**神戸デジタル・ラボ、国際福祉機器展で高齢者見守りシステムについて登壇
—Wi-SUNルータによる収集情報の見える化と見守りの仕組みを解説—**

株式会社神戸デジタル・ラボ(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長:永吉一郎、以下 KDL)は、2016年10月12日～14日、東京ビッグサイトで開催される、「第43回 国際福祉機器展 H.C.R.2016」において、国立研究開発法人情報通信研究機構(理事長:坂内 正夫、以下、NICT)のブース等で、KDL 取締役/先端技術開発部長 山口和泰と先端技術開発部 岡田信夫が「Wi-SUN を活用した高齢者見守りシステム」について登壇いたします。

■Wi-SUN を活用した高齢者見守りシステムとは

国や地方自治体が抱える重要課題のひとつである認知症患者を含めた高齢者の見守りに対して、NICT が開発している、高齢者の徘徊に対する地域の見守りを支援するためのシステムです。見守り対象の高齢者が所持する小型 Wi-SUN による情報と、検索協力者のスマートフォンの位置情報から、見守り対象の高齢者と遭遇する可能性の高い検索協力者を自動的に抽出し(※1)、スマートフォンを通じて検索協力者に検索協力依頼情報を通知します。本システムの活用により地域での「声かけ」を促進することで、徘徊による行方不明者を早期発見することを目的としています。

KDL は本システムにおいて、主に見守り対象者の位置と検索協力者の位置の見える化、およびその位置関係から見守り対象者と検索協力者をマッチングする部分に関して研究開発支援を行っています。

今回の登壇では KDL が主に研究開発支援を担当する、収集情報の見える化と高齢者と検索協力者の位置のマッチングの仕組みについて解説いたします。

※1 NICT、KDL、国立大学法人京都大学が共同で知財を保有する技術

■登壇情報**<イベント概要>**

名称 : 第43回 国際福祉機器展 H.C.R. 2016
会期 : 2016年10月12日(水)～10月14日(金) 10:00～17:00
会場 : 東京ビッグサイト東展示ホール
URL : <https://www.hcr.or.jp/>

<登壇内容>**「Wi-SUN を活用した高齢者見守りシステム」**

- ・固定/モバイル Wi-SUN ルータによる収集情報の可視化
- ・想定徘徊高齢者の位置と検索協力者の位置のマッチングによるターゲティング型の検索協力依頼の仕組み
- ・今後の戦略、ビジネス展開の展望

日程1: 10月13日(木)11:00～

登壇者 : 先端技術開発部 岡田信夫

場所 : NICT ブース(東5ホール 小間番号 5-12-17)

日程2 : 10月13日(木)13:30～

登壇者 : 取締役/先端技術開発部長 山口和泰

場所 : 2F 出展社プレゼンテーション会場 2-C

詳細 URL : <http://www.nict.go.jp/info/event/2016/10/161012-1.html>

報道関係者各位
ニュースリリース

【会社概要】

社名 : 株式会社 神戸デジタル・ラボ
代表者 : 代表取締役社長 永吉 一郎
所在地 : (神戸本社) 〒650-0034 神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル
(東京支社) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-1-1 ヒューマックス恵比寿ビル 7 階
設立 : 1995 年 10 月
資本金 : 2 億 995 万円
従業員数: 168 名(2016 年 10 月現在)
URL:<http://www.kdl.co.jp/>

【プレスリリース問い合わせ先】

株式会社 神戸デジタル・ラボ 先端技術開発部
担当: 取締役／部長 山口和泰(やまぐち かずひろ)
TEL :078-335-5569
MAIL :info@kdl.co.jp

※記載されている会社名、製品・サービス名は、登録商標または商標です。

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。